

2019年度 研修計画【看護部】

看護部教育理念		教育方針：現任教育に対する基本的な考え方		期待する人物像		教育で実現したいこと	
済生会の基本理念・病院・看護部の理念を理解し、個人が主体的にキャリア開発できる看護職を育成する		・済生会宇都宮病院の職員として資質・能力向上を図る。 ・主体的に取り組む自己啓発を基本とする。 ・職員の自己実現(キャリアアップ)を支援する。 ・期待する人材像を明確にして継続的に実施する。		・自立し責任ある行動がとれる人 ・企画力・表現力のある人 ・自己研鑽を惜しまない人 ・信頼がもて、協調し合える人 ・「バランスのとれた社会人」として自己成長できる人		・質の高い看護サービス向上 ・自己研鑽に励む人の支援 ・活性化された職場風土の形成 ・共に育て合う「共育的風土」の形成 ・自己実現への支援	
〈新人研修〉							
NO	研修名	対象者	募集人員		ねらい	内容	
1	新採用者研修	平成31年度 新採用者・既卒者	60名	4月9日(火) 13:00～17:30	・看護部の概要、組織体制、がわかる ・新人の教育体制が理解できる ・看護部の活動が分かる ・チーム医療を支える看護の役割を理解する	・看護部概要、看護部組織体制について ・新人教育体制について ・メンタルサポートについて ・各委員会紹介(安全・教育・業務・倫理) ・当院のケアチーム活動と部署連携	
2	看護技術(移乗・ボディーメカニクス)	2・3等級 (新卒者・既卒者希望者)	60名	4月18日(木) 15:00～17:00 4月19日(金) 15:00～17:00 ＊どちらかに参加	・当院の看護基準・手順に沿った知識・技術を身に付ける ・生活の援助に必要な看護を実践することができる。	・車椅子の構造について ・ベッドからの移乗方法、ロールボードの使用方法 ・車椅子での移送方法 ・片麻痺患者の移乗方法	
3	看護技術(導尿・浣腸)	2・3等級 (新卒者・既卒者希望者)	60名	4月24日(水) 9:00～12:00 4月24日(水) 14:00～17:00 ＊どちらかに参加	・当院の看護基準・手順に沿った知識・技術を身に付ける ・看護基準・手順の遵守の必要性が理解できる	・当院の手順に沿った導尿 ・浣腸の方法、施行時の注意事項について ・看護における安全対策・インシデント・アクシデント事例	
4	静脈注射基礎Ⅰ	2・3等級 (新卒者・既卒者希望者)	60名	講座A・B：4月26日(金) 15:00～17:00 講座C・D：5月7日(火) 15:00～17:00 演習 5月10日(金) A・Cグループ 9:00～12:30 B・Dグループ 13:30～17:00	・静脈注射の安全な実施に関する基本的知識技術を習得する ・注射部位の局所解剖・生理、薬理学、感染対策を学ぶ	講座A ・看護業務の法的根拠・患者の権利 ・看護師の責務・与薬における看護 講座B：薬剤の基本知識 講座C：静脈とその解剖・輸液管理 講座D：感染対策 演習：静脈注射の実際	
5	看護記録Ⅰ	2・3等級 (新卒者・既卒者希望者)	60名	5月9(木) 14:00～15:00 10月1日(月)～部署で看護過程の展開	・看護記録の概要がわかり、記録ができる	・看護記録とは ・看護記録の考え方とプロセスについて ・看護記録に関する電子カルテについて ・症例のまとめ	
6	認知症および排泄ケアの実践	2・3等級 (新卒者・既卒者希望者)	60名	5月20日(月) 13:00～17:00 5月22日(水) 13:00～17:00 ＊どちらかに参加	・認知症を理解し、認知症高齢者に対する基本姿勢を身に付けることができる ・生活の視点でとらえた排泄ケアを理解し、適切なおむつ交換ができる	全体講義 ・認知症の理解と認知症ケアマニュアルについて ・ユマニチュード技術について 演習① ・認知症高齢者への対応 :グループワーク及びロールプレイング 演習② ・排泄ケアのアセスメント、看護手順に沿ったおむつ交換 ・臥床患者のおむつ交換	
7	スキンケア	2・3等級 (新卒者・既卒者希望者)	60名	6月13日(木) 9:30～12:00 6月13日(木) 13:30～16:30 ＊どちらかに参加	・褥瘡発生予防とケアがわかる	・褥瘡発生のメカニズムについて ・褥瘡の予防とケアの基本について ・ポジショニングについて(演習)	
8	看護技術(吸引・口腔ケア)	2・3等級 (新卒者・既卒者希望者)	60名	6月28日(金) 9:00～12:00 6月28日(金) 14:00～17:00 ＊どちらかに参加	・当院の看護基準・手順に沿った知識・技術を身に付ける	・吸引の必要性について ・口腔ケアの必要性について ・当院の手順基準に沿った口腔ケアの方法	
9	新人のためのフィジカルアセスメント	2・3等級 (新卒者・既卒者希望者)	60名	7月5日(金) 9:00～12:00 7月5日(金) 14:00～17:00 ＊どちらかに参加	・看護実践に活用できるフィジカルアセスメントの基礎を習得できる	・呼吸・循環を中心とした観察の技法について	

10	心電図 I	2・3等級 (新卒者・既卒者希望者)	60名	7月26日(金) 9:30～12:00	・心電図の基本がわかり実践に活かせる	・24時間心電図モニター・十二誘導心電図の違い ・心電図の装着・測定方法 ・正常な心電図の波形がわかる
11	重症度、医療・看護必要度の基礎	2・3等級 (新卒者・既卒者希望者)	60名	8月8日(木) 13:00～14:30	・重症度、医療・看護必要度の基本的内容を知り、評価に関する項目(内容)を理解する	・重症度、医療・看護必要度の概念と導入目的 ・重症度、医療・看護必要度の評価票とその判断について ・評価に適した看護記録について
12	多重業務シミュレーション	2・3等級 (新卒者・既卒者希望者)	48名	8月28日(水) 15:00～17:00	・日常業務の中での判断力を養う	・時間管理のマトリックスについて ・多重課題に対するペーパーシミュレーション
13	ローテーション研修	2・3等級(新卒者)	48名	7月29日(月)～1月31日(金)	・部署では得ることのできない幅広い臨床実践能力を習得できる	・救命救急処置 ・配属部署で経験できない領域の看護技術 ・配属部署で必要な領域の基礎知識
14	静脈注射基礎Ⅱ	平成30年採用者で 静脈注射基礎Ⅰを修了した者 平成30年度既卒採用者 ≪講座Bはどちらかに参加≫	60名	講座A・C・D:12月19日(木) 9:00～15:00 講座B:12月20日(金) 13:30～15:00＊ 講座B:12月20日(金) 15:30～17:00＊ ＊どちらかに参加	・機器を使用しての静脈注射を安全・確実に行う方法を熟知する ・輸血の安全な実施方法、麻薬・向精神薬について熟知する	講座A:安全管理 講座B:シリンジポンプ・輸液ポンプ使用時注意点 講座C:輸血の手順と注意点、アナフラキシーショックについて 講座D:麻薬・向精神薬の基礎知識

〈看護実践〉

NO	研修名	対象者	募集人員	期日	ねらい	内容
15	呼吸器ケア	3等級以上	50名	10月2日(水) 18:00～19:30 11月6日(水) 18:00～19:30 12月4日(水) 18:00～20:00	・呼吸器装着患者の安全対策・感染予防の必要性が理解できる	・安全対策・感染予防について ・人工呼吸器管理、人工呼吸器装着患者の管理の体験 ・呼吸器感染予防のケアリング体験
16	心電図Ⅱ	3等級以上	50名	8月22日(木) 18:00～19:00 9月26日(木) 18:00～19:30 10月10日(木) 18:00～19:30 * 10月24日(木) 18:00～19:30 * (*どちらかに参加)	・心電図装着患者の異常の早期発見・対処方法を学び看護実践に活かせる。	・心電図モニター・十二誘導心電図の波形の読み方 ・異常波形・致死的不整脈の種類と対処方法 ・心電図モニターの安全管理
17	フィジカルアセスメントコースⅠ： 初級編	3等級以上 (聴講も可能)	30名	7月27日(土) 9:00～12:00 * 7月27日(土) 13:30～16:30 * (*どちらかに参加) 8月10日(土) 9:00～12:00 * 8月10日(土) 13:30～16:30 * (*どちらかに参加)	・フィジカルアセスメントの目的・方法を理解し、看護実践に活かすことができる。	・呼吸器系の観察(聴診・視診・触診の方法) ・循環器系の観察(聴診・視診・触診の方法とショック時の観かた) ・腹部の観察(聴診・触診・打診方法) ・意識障害の観察(意識レベル・瞳孔・麻痺の見方)
18	フィジカルアセスメントコースⅡ： 中級編	3等級以上でⅠを受講した者 (聴講も可能)	30名	6月 8日(土) 9:00～12:00 7月13日(土) 9:00～12:00	・急変予測につなげるためのフィジカルアセスメントを学び、看護実践に活かすことができる	・侵襲と生体反応、ショックの病態について ・関連図の作成 ・事例検討
19	フィジカルアセスメントコースⅢ： 上級編	5等級以上 (聴講も可能)	30名	10月26日(土) 9:00～12:00 11月 9日(土) 9:00～12:00 12月 7日(土) 9:00～12:00	・病態予測と急変を回避するための全身的なフィジカルアセスメントを学び、看護実践に活かすことができる	・低酸素血症の状態に合わせた看護ケア ・敗血症・ショックに至る病態生理とアセスメント ・フィジカルアセスメントの結果を他者へ報告するポイント ・事例検討
20	急性期看護における指導者研修	4等級以上	50名	8月24日(土) 9:00～12:00 9月14日(土) 9:00～12:00* 9月28日(土) 9:00～12:00* *どちらかに参加	・臨床推論の基礎を学び、指導能力の向上をはかり、看護実践に活かすことができる	・看護実践における指導者としてのコミュニケーションのあり方 ・フィジカルアセスメントをもとにした効果的な指導法 ・臨床推論を活用した患者アセスメントの方法について ・指導者としての自己課題の明確化
21	認知症とせん妄予防ケア	3等級以上	30名 各病棟1～2名	10月5日(土) 9:30～12:00 10月19(土) 9:30～12:00	・認知症高齢者やせん妄に対するアセスメント能力を高め、看護実践に活かせる	・認知症高齢者のアセスメントとケアの基本 ・せん妄患者のアセセメントと予防ケア ・認知症高齢者の意思決定支援と倫理 ・認知症高齢者の看護展開
22	急性期病院に求められる退院支援と在宅看護《基礎》	3等級以上	50名	6月4日(火) 18:00～19:30 6月18日(火)18:00～19:30	1. 地域包括ケアシステム構築における当院の役割と機能を理解し、在宅移行支援のあり方を学ぶ 2. 患者および家族の療養生活の質向上のために必要な退院支援の知識を学ぶ	・地域包括ケアシステムと急性期病院の役割と機能について ・入退院支援における看護師の役割について ・退院後の在宅療養と訪問看護について
23	急性期病院に求められる退院支援と在宅看護《応用》	基礎編修了者 3等級以上	15名	研修期間:8月～1月 研修時間:8:30～17:30 ①退院支援課実習1日 ②訪問看護ステーションほっと実習:同行訪問2日間	1. 地域包括ケアシステム構築における当院の役割と機能を理解し、在宅移行支援の実際を学ぶ 2. 患者および家族の療養生活の質向上のために必要な退院支援とは何かについて自己課題を明確にできる	・退院支援課看護師の役割と退院調整の実際について ・訪問看護師の役割と在宅療養生活の実際について ・自己課題レポート
24	H30年度改訂 重症度、医療・看護必要度研修	全看護職の未受講者 病棟看護師は必須	700名	開催月:各部署で実施 開催時間:1時間程度 《9:00～17:00の勤務時間内に実施》	・重症度、医療・看護必要度評価改定後の内容を理解し、適切な評価ができる	・重症度、医療・看護必要度の概念と導入目的 ・重症度、医療・看護必要度の評価票の構成 ・重症度、医療・看護必要度の評価に適した記録
25	重症度、医療・看護必要度評価者研修	各部署でチームリーダー業務に携わっている者	50名	10月25日(金) 15:00～17:00 11月15日(金) 16:00～16:45	・重症度、医療・看護必要度評価の運用基準に基づき、必要な知識・技術を習得し適切な評価ができる	・重症度、医療・看護必要度の概念と導入目的 ・重症度、医療・看護必要度の評価票の構成と入力方法 ・重症度、医療・看護必要度の評価に適した記録と監査
26	重症度、医療・看護必要度評価者 フォローアップ研修	平成30年度合格者・希望者	60名	前期・後期で日程調整する 14:30～15:30 *1回5～6名で	・重症度、医療・看護必要度評価基準を理解しに必要な知識・技術を習得し適切な評価・入力ができる	・重症度、医療・看護必要度の概念と導入目的 ・重症度、医療・看護必要度の評価票の構成 ・重症度、医療・看護必要度の評価入力の実際 ・評価入力の修正方法
27	重症度、医療・看護必要度評価者 オンデマンド研修(Eラーニング)	全看護職	650名	6月1日(土)～6月30日(日) 11月1日(金)～30日(土)	・重症度、医療・看護必要度評価に必要な知識・技術を再確認し、適切な評価ができる	・Eラーニングを使用した理解度テスト ・導入目的、評価項目内容の再確認

〈看護実践〉

NO	研修名	対象者	募集人員	期日	ねらい	内容
28	医療安全研修	4等級以上	40名 各部署2名	7月5日(金)15:00～17:00 7月25日(木)15:00～17:00 8月2日(金)15:00～17:00 9月～部署で防止対策の実施・評価 12月6日(金)14:00～17:00 発表	・連携不足、確認の怠りによる部署のインシデント事例を分析し、マニュアル遵守できる行動につなげるための対策に取り組める	・事故発生のメカニズムと防止対策 ・インシデント事例分析(演習) ・自部署での安全に関する取り組みと結果発表
29	院内デイクア体験研修	3等級以上	各部署5名	4月～3月 毎週火・金 13:45～16:15 ＊担当部署割り振り表に参加者を事前に記入する	・院内デイクアを体験し、せん妄・認知症患者の看護の基本を理解し、看護実践に活かせる	・院内デイクアの目的と効果について ・せん妄・認知症患者の理解と対応の基本 ・ユマニチュード対応技術・アクティビティケアの実践 ・研修の学びと自部署の課題についてのまとめ
30	小児救急電話相談担当者研修	小児救急電話担当者未受講者・希望者	35名	9月6日(金) 15:00～16:30 9月13日(金)15:00～16:30	・電話相談、症状別対応の知識を習得し、電話相談対応に活かせる	・電話相談担当者の役割と基本的知識について ・症状別相談の対応 ・リフレクション演習
31	新人教育担当者コース	看護単位で選出された 新人教育担当者	20名	4月・6月・9月・11月・1月・3月 第3火曜日 13:30～15:00	・新人看護師の指導体制を整備し、プリセプター・アソシエイト・実施指導者が役割を発揮できるように指導・助言できる。	・卒後臨床研修「当院の新人教育成体制」と新人教育担当者の役割 ・年間教育プログラムの立案、実施、評価 ・効果的なOJT、ローテーション研修、ポートフォリオの運用 ・実施指導者・アソシエイト・プリセプターへの動機づけと支援 ・次年度研修計画立案に向けた現状分析
32	感染リンクナースコース	看護単位で選出された 感染リンクナース	21名	毎月 第1水曜日 13:30～14:00会議 14:00～15:00研修	・自部署の感染対策に取り組むことで感染リスクの低減ができる	・経路別感染対策 ・標準予防策 ・各種感染対策
33	褥瘡リンクナースコース	看護単位で選出された 褥瘡リンクナース	16名	毎月 第4火曜日 13:30～14:30 (10月開催分は10月29日(火)に実施)	・褥瘡リンクナースとしての指導のポイントがわかり、現場に活かすことができる	・褥瘡リンクナースの役割と褥瘡の基礎知識 ・体圧分散とポジショニング ・スキンケアと栄養管理
34	緩和ケアリンクナースコース	4等級以上 外来を含めた選出された 緩和ケアリンクナース (3,4階フロアを除く)	10名	偶数月 第4水曜日 13:30～15:00	・各部署で役割モデルとなり、がんと診断されたときから終末期まで一貫した緩和ケアが提供できる	・基本的緩和ケアを担う看護師に求められる役割と活動について ・緩和ケアにおける基礎知識と包括的アセスメントの方法とその実際 ・部署の課題への取り組み・発表
35	せん妄・認知症看護リンクナースコース	4等級以上 看護単位で選出されたせん妄・認知症リンクナース (4階フロアを除く)	15名	毎月 第2水曜日 13:30～14:30	・せん妄・認知症看護の専門知識をもとに、現場での実践、スタッフ指導ができる	・せん妄・認知症患者のアセスメントの実際 ・せん妄認知症ケアチームの活動について ・せん妄・認知症患者のアセスメント、看護の実際 ・ユマニチュード対応技術・アクティビティケアについて
36	退院支援リンクナースコース	4等級以上 外来・入院病棟から選出された 退院支援リンクナース	17名	4月・5月・7月・9月・11月・1月・3月 第4金曜日 13:30～15:00	・地域包括ケアシステムにおける急性期病院の役割を理解し、効果的な退院支援のあり方を学び、現場での実践、スタッフ指導ができる	・地域包括ケアシステムと当院の役割、退院支援ナースの役割について ・介護保険制度の仕組みや社会資源、訪問看護の現状の理解 ・自部署の課題への取り組み、事例検討会
37	倫理リンクナースコース	5等級以上 看護単位で選出された 倫理リンクナース	26名	奇数月 第4木曜日 13:30～15:00	・適切な倫理的判断を行うために、倫理原則や当院の倫理に関する指針やマニュアルを学ぶ ・自部署の倫理的課題を明確化し、対処行動に結びつけられるための実践、指導ができる	・倫理担当者の役割について ・倫理的問題における事例展開のグループワーク
38	糖尿病ケアリンクナースコース	4等級以上 看護単位で選出された 糖尿病リンクナース(4Nを除く)	17名	奇数月 第2月曜日 13:30～14:30 (1月開催分は1月20日(月)に実施)	・糖尿病看護の知識を深め、自ら役割モデルとなり現場での実践、スタッフ指導ができる	・糖尿病ケアリンクナースの役割と実践課題の取り組みについて ・事例検討(食事・薬物・運動療法、・低血糖予防・フットケア) ・

〈看護実践〉

NO	研修名	対象者	募集人員	期日	ねらい	内容
39	看護補助研修	看護補助員(レベルⅠ・Ⅱ・Ⅲ)	90名	7月9日(火) 14:00～15:00 7月16日(火) 14:00～15:00 *どちらかに参加	・急性期病院における看護補助員の役割を理解し、業務に活かすことができる ・看護師の指示・指導を受けながら基本的な看護補助業務を安全に遂行できる	・医療制度の概要と病院の機能と組織について ・医療チーム・看護チームの一員としての看護補助補助業務について ・看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術 (患者の権利と人権、倫理、接遇) ・守秘義務・個人情報の保護 ・災害・防災対策
			90名	8月22日(木)14:00～16:00 8月29日(木)14:00～16:00 *どちらかに参加		・医療安全と事故防止 ・救急対応 ・感染防止について
40	看護補助レベルⅠ研修	看護補助員レベルⅠ (レベルⅡの未受講者)	10名	9月12日(木) 14:00～15:30	看護師と協働し、日常生活に関する業務が手順にそって安全に遂行できる	・車いすの構造、移送方法と注意点 ・ベッドからの移乗方法・注意点について
			10名	9月19日(木) 14:00～15:30		・臥床患者の清拭・更衣の実際、シーツ交換の援助の実際
41	看護補助レベルⅡ研修	看護補助員 レベルⅡ	35名	10月10日(木) 14:00～15:00	患者の安全を守るための基礎知識を学び、安全に業務が遂行できる	・院内に潜在する危険とは ・イラストKYT(危険予知訓練)について
				11月7日(木) 14:00～15:30	認知症患者とのコミュニケーションや対応を学び、業務に活かせる	・認知症患者のコミュニケーションについて ・ユマニチュードについて
42	看護補助レベルⅢ研修	看護補助員 レベルⅢ	41名	10月24日(木) 14:00～15:00 11月14日(木) 14:00～15:00 *どちらかに参加	医療事故を起こさないための注意点と対策が考えられる	・インシデントKYT(危険予知訓練)について ・グループ演習

〈看護記録〉

NO	研修名	対象者	募集人員	期日	ねらい	内容
43	看護記録Ⅱ	2・3等級 (新卒者以外)	40名	8月 2日(金) 13:30～15:00 11月8日(金) 13:30～15:00* 11月15日(金) 13:30～15:00* *どちらかに参加	・科学的根拠に基づいた看護過程の展開ができる	・看護診断の定義と分類 ・事例展開をもとに学びの共有(グループワーク) ・看護観レポート
44	看護記録Ⅲ	3等級以上	50名	6月 7日(金) 13:30～15:00 7月 5日(金) 13:30～15:00 7月12日(金) 13:30～15:00 8月 9日(金) 13:30～15:00 発表	・紙上事例演習により、看護過程の展開能力を高めると共に、自己の看護観を再構築する	・紙上事例演習(グループワーク) ・看護観レポート
45	看護記録担当コース	看護単位で 選出された 記録係	20名	隔月(奇数月)第4月曜日 13:30～15:00 (9月開催分は9月30日(月)に実施)	・看護記録における指導のポイントがわかり現場に活かすことができる	・記録係の役割とは ・事例検討と指導ポイント ・監査と看護記録の振り返り

〈看護研究〉

NO	研修名	対象者	募集人員	期日	ねらい	内容
46	看護研究Ⅰ	3等級以上 Aグループ (希望部署の参加可)	20名	①5月22日(水) 13:30～16:00 ②7月24日(水) 13:30～16:00 ③9月25日(水) 13:30～16:00 ④10月30日(水) 13:30～17:00 ⑤11月27日(水) 13:30～16:00 《計画書発表》	・看護実践の中から研究課題を見い出すことができる	・看護研究が何故必要か ・文献レビュー、テーマの焦点化 ・研究計画書作成 ・研究計画書発表
47	看護研究Ⅱ	3等級以上 Cグループ	50名	①4月24日(水) 9:00～16:00 ②6月26日(水) 9:00～16:00 ③8月28日(水) 13:00～15:00《パソコン演習》 ④10月30日(水) 9:00～16:00 (＊個別指導時間は各部署に通知) 《研究発表会》 ⑤2020年1月11日(土) 13:00～17:00	・看護研究の過程を実践することにより、研究的思考を身につけ、看護の質の向上につなげる	・研究、実践 ・論文の書き方、まとめ方 ・統計処理の方法 ・院内研究発表
48	看護研究Ⅲ	4等級以上 (個人・複数での受講可) ＊6演題まで	10名	《履修期間2年間》 2019年 ①5月15日(水) 18:00～19:30 ②6月19日(水) 18:00～19:30 ③7月17日(水) 18:00～15:00 ④10月16日(水)18:00～19:30 ⑤11月20日(水) 18:00～19:30 2020年 ①5月20日(水) 18:00～19:30 ②7月15日(水) 18:00～19:30 ③9月16日(水) 18:00～19:30 ④11月18日(水) 18:00～19:30 《研究発表会》 ⑤2021年1月16日(水) 13:00～17:00	・探求したいテーマの看護研究に取り組み、指導できるスキルを身に付け、看護の質向上につなげることができる	・研究構想発表会 ・研究、実践 ・論文の書き方、まとめ方 ・統計処理の方法 ・院外研究発表

〈院内認定コース〉

NO	研修名	対象者	募集人員	期日	ねらい	内容
49	静脈注射院内認定ナースコース	5等級以上	20名	講座A:6月 7日(金) 18:00～19:30 講座B:6月21日(金) 18:00～19:30 講座C:7月 5日(金) 18:00～19:30 講座D:7月19日(金) 18:00～19:00 講座E 8月 2日(金) 18:00～19:00 試 験:8月23日(金) 18:00～19:00	・高度な専門的知識・技術を習得し、安全に静脈注射が実施できるように教育・指導できる	講座A:関係法規・看護業務基準・倫理綱領 倫理的な看護実践・安全管理 講座B:輸液と水・電解質 講座C:薬剤の危険性 講座D:輸液療法に関する感染管理、感染予防基準 講座E:合併症の機序と予防・対処方法 ・認定試験
50	放射線静脈注射院内認定ナースコース	放射線科異動者	適宜	放射線科異動後1ヶ月以内	・放射線診療に関する医薬品などの知識を取得し、安全に静脈注射を実施できる	講座A:関係法規・看護業務基準・倫理綱領、倫理的な看護実践 講座B:造影剤・放射線同位元素医薬品・その他の危険性 講座C:放射線技術科における安全規定 講座D:感染管理・感染予防基準 講座E:合併症の機序と予防・対処方法 ・認定試験
51	縫合助産師院内認定フォローアップ研修	縫合助産師認定者	17名	縫合演習:4W2回/月、BC4回/月 技術チェック:8月、2月 縫合の実施:4W5回/年、BC10回/年	・縫合助産師として軽度の会陰裂傷縫合に対する知識・技術の維持して縫合できる	・会陰縫合演習 ・医師による技術チェック ・会陰縫合の実施、評価
52	抗がん剤静脈注射院内認定ナースコース	静脈注射院内認定 ナース希望者	数名	講座A:平成32年1月14日(火) 18:00～19:30 講座B:平成32年1月28日(火) 18:00～19:00 講座C:平成32年2月4日(火) 18:00～19:30 講座D:平成32年2月18日(火) 18:00～19:30 講座E:平成32年2月25日(火) 18:00～19:00 試験:平成32年3月10日(火) 18:00～19:00	・抗がん剤・その他のがん化学療法薬等の知識を習得し、安全に静脈注射を実施できる	・抗がん剤に関わる関係法規 講座A ・がん化学療法の目的、対象の理解 講座B ・がん化学療法薬の薬理作用・危険性 講座C ・抗がん剤の投与管理 講座D ・合併症の機序と予防、対処方法 講座E ・筆記試験
53	抗がん剤静脈注射院内認定ナースコース更新フォローアップ研修	抗がん剤静脈注射院内認定ナース更新者	7名	平成32年3月3日(火) 18:00～19:30	・抗がん剤・その他のがん化学療法薬等の知識を習得し、安全に静脈注射を実施できる	・がん化学療法の知識と安全管理 ・抗がん剤の投与管理

【地域の医療施設向けの公開講座】

NO	研修名	対象者	募集人員	期日	ねらい	内容
1	パネルディスカッション これからの在宅療養のあり方 ～住み慣れた場所で最期まで自分らしく 生きるためには？～	一般市民	100名	8月3日(土) 13:00～15:00	在宅療養においての支援体制を学び、アドバンスケアについて考えることができる	講義:在宅療養とは何か、在宅療養の支援体制 他職種連携-パネルディスカッション
2	摂食・嚥下をスムーズに！ ～嚥下リハビリ体操と食事介助の実際～	連携病院・介護施設	50名	9月21日(土) 13:00～15:00	摂食・嚥下障害のある患者のアセスメントと援助方法を学ぶ	講義:摂食・嚥下のメカニズム 摂食・嚥下障害の原因、誤嚥とは 演習:食事介助の方法 嚥下リハビリ体操

【地域の医療施設向けの公開講座】

NO	研修名	主催	対象者	募集人員	期日	ねらい	内容	講師名
1	パネルディスカッション これからの在宅療養のあり方 ～住み慣れた場所で最期まで自分らしく生きるためには？～	看護部	一般市民	100名	8月3日(土) 13:00～15:00	在宅療養においての支援体制を学び、アドバンスケアについて考えることができる	講義:「これからの在宅療養のあり方-アドバンスケアプランニング」 パネルディスカッション:多職種連携による在宅療養の支援体制	村井クリニック院長:村井 邦彦
2	摂食・嚥下をスムーズに！ ～嚥下リハビリ体操と食事介助の実際～	看護部	連携病院・介護施設	50名	9月21日(土) 13:00～15:00	摂食・嚥下障害のある患者のアセスメントと援助方法を学ぶ	講義:摂食・嚥下のメカニズム 摂食・嚥下障害の原因、誤嚥とは 演習:食事介助の方法 嚥下リハビリ体操	集中ケア認定看護師:寺山 響子 摂食嚥下リンクナース3名 歯科衛生士:根岸 初枝